

意見・質問	対応の概要・方向性
<p>中高生(若者)にも興味をぜひもってもらいたいと考えます。 改めてアクションプランを眺めると若い人達にはワクワク感や期待感を与える様なものでないのですが、しかたないですが、座長のご意見にもあったようにwebサイトでも見えやすい様な工夫や思わず覗きたくなるようなキャッチさも必要なのではないかと思えた。 ※初めてこの様な会議に参加させて頂いておりますが、結構重要な意見があり、アクションプラン作成だけではもったいないと思う。安芸区の市議会議員の方々にも同席して頂ければ、もっと実現性のある会議になると思える。もったいない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図式化や写真の挿入により体裁の工夫を図りました。 ・安芸区選出議員には、事務局において個別に説明し、広島市基本構想・基本計画特別委員会でも審議が行われます。 ・地域の支え合い(1) 日常の困りごとに対応する活動拠点づくりの具体的な取組「地域のボランティア会議の創設」に担い手の育成の要素を盛り込みました。
<p>まちづくりの方向性③「ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり」の中にある「□世代間を超えた交流」は、まちづくりの方向性①「ひとを育み、安全・安心で…」の項目に入るのではないのでしょうか。 子ども、高齢者の世代を超える交流、また障害者との交流様々な交流の場から支え合いが生まれてくると考えます。</p>	<p>まちづくりの方向性①では地域課題の解決に重きを置き、③では住民が互いに認め合うことができる交流づくりに重きを置いていることから、項目を移動させるのではなく、「○世代間を超えた取組」の上から三つの取組を再掲することとしました。</p>
<p>まちづくりの方向性、取組については、それぞれの地域によって異なると思いますが、継続事業についてはこのまま進めて、新規事業については事業によっては予算、そして担い手の問題が生じてくるのではないですか。(実現可能なら別) そのためには優先順位をつけて実現可能なものにしてはどうですか。 現在、広島市においては「広島市障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」化について準備をされています。 障害者に差別のないよう地域共生社会の実現のためにも条例化後はこれらの条例化を生かして安芸区のまちづくりを進めていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位については、予算要求において検討することとします。 ・全市的な事項であるため、市の施策展開の中で対応することになります。 <p>【参考:広島市基本計画素案】 第5章 保健・医療・福祉、子どもの育成環境の充実を目指したまちづくり 第2節 保健・医療・福祉の充実 第3項 障害者の自立した生活の支援 《基本方針》 1 障害者の権利擁護や差別解消等の推進 障害者の権利擁護、障害を理由とする差別の解消や虐待の防止に向けて、「障害者の権利に関する条約」や関連する法律についての一層の啓発、「障害者差別解消条例(仮称)」の制定など、障害や障害者についての理解促進や社会的障壁の除去と合理的配慮に取り組む。</p>
<p>安芸区の特徴 ①他区には大学があるが唯一安芸区内にある広島国際学院大学があるが閉校予定で、なくなるとわが区だけが全くなくなり、これまで地域の行事等積極的に参加し、多いに地域が活性化に貢献していたのが失われる。 ②当区は市のはずれで日頃から若者の集まる場所、遊び場もない。東部市場が移転した後は是非若者の集まる学校等の設置かそうした施設を誘致してもらいたい。 ③反対に他区にはない区民にとっても関係の深い近隣4町がある。市長が標榜している広域都市圏のミニ版と言える。 ④既に他区にはない区民祭り参加などの交流がある。しかし吸収合併などの消えた今日では行政として積極的な交流も難しいと思う。 4町は国、警察署などの機関が同一管内にあるものもあり、区民にとっては関係機関を通じての交流があると思う。 こうした地域交流を市民同士がもっと進めるためにも手始めに「市民と市政」の安芸区版に4町の大きなイベントなど、区民にとっても感心のあるような事項は掲載して参加を促すようにしたらどうか。(例えば海田自衛隊祭りなどでは災害出勤などの展示等身近に感じているものもある)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①具体的な取組において、新規の取組項目として記載しました。 <p>【④ー〇 住民の相互の交流の促進】 ②東部市場の今後については、重要な問題として認識した上で、今後のまちづくりに当たっていききたいと考えます。 ③・④ 関係の深い近隣4町であるため、1区4町のイベントを集約したものをホームページに掲載していますし、4町の広報誌についても、公民館など設置する場所の充実を図っていききたいと考えます。</p>
<p>○地域の支え合い 日常の困りごとに対応する者に最も必要な事は ◆<u>どんな事でもすぐ相談出来る場があれば</u>、 瀬野地区において、奇数月第2木曜日に公民館で開催されている“<u>困りごと何でも相談</u>” (現状では瀬野地区の人はほとんど認知されていないと思います。) 私は今後高齢化が増々進んで行く中で、“<u>困りごと</u>”は多くなると思います。 日常、いつでも相談出来る場をもっと具体化していければ、助かる人は沢山おられると思います。</p>	<p>①ー〇地域の支え合いー(1) 日常の困りごとに対応する活動拠点づくりにある具体的な取組「困りごと解決に向けた支援」に含めた取組として整理をしました。 <参考資料を参照></p>

意見・質問	対応の概要・方向性
<p>○区のプランなので、各々まとめていただき、具体例として地域を紹介する。 ○特に、社会性を身につけることがこれからの「健康でいきがいをもって生活する上」で重要であるで「社会参加」(広島市高齢者生き生きポイント)など、地域行事などへの参加を促進する。 ○障害者の親子が共に活動ができる行事(地域との交流や小さなイベントなど)を専門職等と共にできないか。</p>	<p>○区全体で行っている取組については地域名を出さずに、特定の地域で行っている取組は地域名を出します。 ○③-〇世代間を超えた交流にある具体的な取組「幼児から高齢者まで世代を超えた交流の促進」に含めた取組として整理をしました。 <参考資料を参照> ○調整中です。</p>
<p>私たちは、阿戸町の人口が減少、子供の数も減少し、「若者のいないまちに、未来はない」との危機感を持ち、子育てのしやすい環境の整備や幼稚園・保育園の一体化に向けた取り組み、小中一貫教育校に向けた特色づくり、将来的には「コミュニティ・スクール」の導入など、10年前から地域を挙げて取組んで参りました。 その結果、 ① 平成25年 小中学校校舎の改築(小中連携教育) ② 平成27年 認定こども園の設置(広島市で初) ③ 平成28年 小中一貫教育推進校に指定 ④ 令和元年11月、市教委課長から令和2年4月を目途に「コミュニティ・スクール」の導入を検討している。12月20日開催の教育委員会議会で決定とのお話をいただきました。 この「コミュニティ・スクール」は、学校運営に地域が参画し、地域と一体となって、特色ある学校づくりを進めていくもので、「学校」も「地域」も「子供」も元気になることが期待されるものであります。 私たちは、阿戸地域の活性化の目玉の一つとして積極的に取り組んで参りたいと思っております。 このアクションプランに追加掲載することが適当かどうかご検討をお願いいたします。</p>	<p>具体的な取組において、新規の取組項目として記載しました。 【①-〇 中山間地の活性化】</p>
<p>項目の追加要望 ◇ 憩いの森の設置 場所: 矢野町寺屋敷地区 (S50年以前に広島市に寄付された土地)広さは 千坪以上と聞いています。希望として当初は町民ランドでしたが土地境界等の問題を抱えているために、小規模ではありますが実現可能な、上記に変更致しました。</p> <p>・ 経緯 以前区役所に一度話は致しましたが、土地境界の問題があり、中々進展しない現状にあります。</p> <p>5ヶ年計画に織り込んで頂き、何とか実現の運びにしたいと考えています。</p> <p>【補足】 長期的には広島市に整備をお願いしたい。当面は補助事業での申請を考えているところですが、隣地との境界問題があり、難事業との認識にあります。</p>	<p>②-〇豊かな自然との共存(2)やすらぎのある環境づくりにある具体的な取組「未利用地の活用」に含めた取組として整理をしました。 <参考資料を参照></p>